

教育講演

1日目 10月18日（木）16：45～17：55

第1会場（サンポートホール高松 3F 大ホール）

脂質代謝異常症と動脈硬化

京都大学名誉教授、神戸市立医療センター中央市民病院長
地方独立法人 神戸市民病院機構理事 **北 徹**

座長 **土肥 博雄**（広島赤十字・原爆病院名誉院長
日本赤十字社中四国ブロック血液センター所長）

教育講演

脂質代謝異常症と動脈硬化



京都大学名誉教授
神戸市立医療センター中央市民病院長
地方独立法人 神戸市民病院機構 理事

きた とおる
北 徹

【学 歴】

- 昭和40年 京都大学医学部入学
- 昭和46年 京都大学医学部卒業
- 昭和50年 京都大学大学院医学研究科博士課程入学
- 昭和54年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了（医博）

【職 歴】

- 昭和46年 京都大学医学部附属病院研修医
- 昭和48年 神鋼病院内科研修医、医員
- 昭和55年 米国テキサス州立大学分子遺伝学教室研究員（留学）
- 昭和58年 京都大学医学部内科学第三講座助手
- 昭和63年 京都大学医学部老年医学講座教授
- 平成7年 京都大学大学院医学研究科内科系専攻臨床生体統御医学講座
成人・老年病態学教授
- 平成11年 京都大学大学院医学研究科内科系専攻臨床生体統御医学講座
加齢医学教授
- 平成14年 京都大学大学院医学研究科内科系専攻臨床器官病態学講座
循環病態学教授
- 平成15年 京都大学大学院医学研究科内科系専攻内科学講座
循環器内科学分野教授
- 平成16年 京都大学医学部附属病院 副病院長
- 平成17年 京都大学理事・副学長
- 平成20年 神戸市立医療センター中央市民病院院長

【賞歴】

第35回（平成10年度）ベルツ賞一等賞（動脈硬化の分子機構）（平成10年11月受賞）

第2回（平成12年度）日本動脈硬化学会賞（平成13年6月受賞）

平成15年度 日本医師会医学賞（平成15年11月受賞）

Distinguished fellow of the INTERNATIONAL ATHEROSCLEROSIS SOCIETY 2007（平成19年度）

日本動脈硬化学会「大島賞」（平成22年7月16日受賞）

紫綬褒章（平成24年4月29日受章）

動脈硬化性疾患つまり虚血性心疾患と脳動脈硬化性疾患による死亡は癌と並んで我が国死因の三分の一を占めている。1948年米国Framinghamにおいて発表された動脈硬化性疾患の発生危険因子（risk factor）は、周到に用意された医療スタッフと住民の協力による疫学調査の結果から導き出された成果でありいまだに全世界で通用する。危険因子のなかでも動脈硬化性疾患と脂質代謝異常の関係は良く知られている。殊に、動脈硬化性疾患の発生と高LDL-コレステロール血症との関係は、分子レベルで研究されており、その成果に基づく治療法の確立はあまりに有名である。コレステロールは生体にとって必須の分子である。コレステロールはあらゆる細胞膜の重要な成分として、ステロイドホルモンや胆汁酸の原料として、使われている。コレステロールはそのような必要としている臓器・細胞に運ばれ利用されるが、水に不溶であるため目的の臓器・細胞には、その運び屋であるリポタンパクにより運搬されている。LDL（low density lipoprotein）がその代表である。LDLは水に親和性があり、油に親和性のある両極性の性質を持ち合わせているリン脂質により、中心部にコレステロール（実際はコレステリールエステル）を包み、血液中を目的臓器・細胞まで運搬している。細胞にはLDLを認識するLDL受容体が存在しており、LDL由来のコレステロールは、この受容体を介して細胞内に運ばれ目的に応じて代謝されることが知られている。家族性高コレステロール血症（FH）は、高LDL血症と動脈硬化を基盤にした虚血性心疾患を発生する常染色体優性遺伝病であるが、その原因がLDL受容体の欠損によることがGoldstein/Brown博士により発見されている。従って、本疾患の本体を研究すれば、LDL受容体の異常が、如何なる機序で高LDL血症をもたらすか、さらに高LDL血症が如何なる機序で虚血性心疾患のベースにある動脈硬化をもたらすかを究明できることになる。本講演では、これらの問題につき今までに明らかにされてきた成果の一端を述べる。